

平成22年度 豊浦町財務書類4表(概要版)

地方公会計制度改革として、従来の現金主義・単式簿記を特徴とする現行の官庁会計に対し、発生主義・複式簿記の考えを取り入れた新しい公会計制度に基づく財務書類4表を作成しました。

【総務省方式改訂モデル】

・作成基準日：平成23年3月31日 ・対象範囲：普通会計(一般会計)

貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表(バランスシート)とは、住民サービスを提供するために町が保有している土地・建物及び現金などの資産と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを表した表です。

資産の部(所有する財産の金額)		負債の部(将来世代が負担する金額)	
公共資産 (道路・学校・公園などの土地や建物)	22,707,699 千円	固定負債 (地方債(借金)、退職手当引当金など)	5,988,897 千円
投資等 (基金、出資金、長期延滞債権など)	3,008,044 千円	流動負債 (翌年度償還予定地方債、賞与引当金など)	708,734 千円
流動資産 (現金・預金・町税未収金など)	2,557,943 千円	負債合計	6,697,631 千円
		純資産の部(これまでの世代が負担した金額)	
		純資産合計	21,576,055 千円
資産合計	28,273,686 千円	負債純資産合計	28,273,686 千円

行政コスト計算書

行政コスト計算書とは、1年間の資産形成に結びつかない行政サービスに係る費用と、その行政サービスの直接対価として得られた使用料・手数料などの収益を対比させたものです。

経常費用 (A)	4,312,356 千円
人にかかるコスト (職員給与など)	546,861 千円
物にかかるコスト (物件費、減価償却費など)	1,609,422 千円
移動支的的なコスト (社会保障費、他会計への支出など)	2,073,767 千円
その他のコスト (地方債利子など)	82,306 千円
経常収益(使用料・手数料など) (B)	174,134 千円
純経常コスト (A) - (B)	4,138,222 千円

純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、貸借対照表の純資産が1年間でどのように変動したかを示したもので、今までの世代が負担した額の変動を表したものです。

期首純資産残高	21,934,180 千円
当期変動額	△358,125 千円
純経常行政コスト	△4,138,223 千円
資産形成のため受入れた財源 (町税、地方交付税、国・道支出金等)	3,798,063 千円
その他(災害復旧事業費等)	△17,965 千円
期末純資産残高	21,576,055 千円

資金収支計算書

資金収支計算書とは、行政活動に伴う現金等の資金の流れを3つの性質に区分し示したもので、どのような活動に資金が必要となったのかを表したものです。

期首歳計現金残高	172,168 千円
経常的収支 (町税、国庫支出金など)	1,471,672 千円
公共資産整備収支 (公共資産整備支出など)	△310,046 千円
投資・財務的収支 (投資及び出資金など)	△1,069,610 千円
期末歳計現金残高	264,184 千円

住民1人あたりの貸借対照表

資産 6,391千円	負債 (将来世代負担) 1,514千円
	純資産 (今までの世代負担) 4,877千円